

CSR Report 2020

2019年度の事業・社会・環境についての報告

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



生協の事業と活動を通じて持続可能な共生社会を築いていきます。

生協ひろしま 専務理事 横山 弘成

国連は30年後の世界の人口が100億人に迫るとの予測から、急激な人口増加に対する警鐘を鳴らし、持続可能な世界を実現する17の目標 (SDGs) を掲げました。そして今、新型コロナウイルス感染症拡大により、地球規模での持続可能性が問われています。私たちはステークホルダーという概念を地域社会を超えた、地球規模で捉え、広がる格差や社会の分断、地球温暖化などの問題に真剣に向き合い行動していかなくてはなりません。

生協ひろしまではSDGsを組合員と学び、共に取り組むことで、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

本レポートでは2019年度の活動や取り組みをまとめました。皆さまからのご意見やご提案をいただきながら、引き続き、だれもが安心して暮らせる共生社会の実現に向け取り組んでまいります。



生協ひろしまは SDGs (持続可能な開発目標) について学び、
広げ行動していきます。

SDGsとは

2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に2016年から2030年までの国際目標が記載されました。目標は持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



三原市で行なわれた小学生のためのSDGs講座

国連加盟国がSDGsを採択した際、開発を達成するために連携するパートナーとして協同組合が選ばれました。

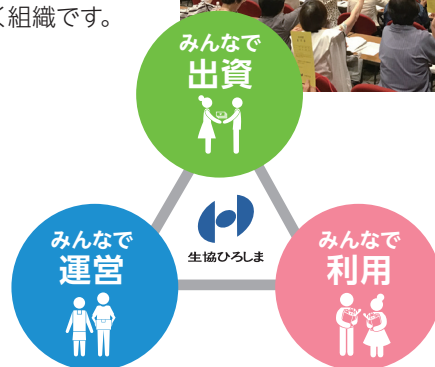
「持続可能な開発目標 (SDGs)」には、生協の事業・活動と強い関わりを持つ目標があります。生協ひろしまではSDGsの目標達成に向けて、さまざまな取り組みを進めています。

生協ひろしま基本理念

私たちは協力の力で、よりよい暮らしの創造と平和な社会づくりに貢献します。

生協とは

生協は暮らしを豊にしたいという組合員の願いを実現するためにみんなが話しあい、力を合わせて商品を開発し商品やサービスを通じた暮らしの見直しに取り組む消費者団体の協同組織です。一人ひとりには弱い立場の私たちもみんなを力合わせれば大きな力を生み出すことができます。みんなの協力で作られている生協は組合員自身が出資し商品を利用し、自分(組合員)たちの手で進めていく組織です。



地域・社会貢献



包括連携協定を締結

相互の機能の連携を強化し、市民が安心して暮らせる生活支援やサービス向上、地域活性化など官民が協働して持続可能な共生社会を目指す包括連携協定を締結しています。



2019年度は6つの自治体と協定を締結

協定締結日	包括連携協定締結市町
10月 3日 (木)	東広島市
10月17日 (木)	廿日市市
12月23日 (月)	竹原市
1月20日 (月)	熊野町
2月12日 (水)	府中市
3月25日 (水)	大竹市

行政と連携し、認知症サポーター講習会を開催

竹原市の包括連携協定に基づく具体的な取り組みとして、生協ひろしま三原支所と連携し配送職員を対象とした認知症サポーター養成講座が行われました。



西日本豪雨災害支援

いわて生協、生協くまもとの郷土料理を振舞う炊き出し支援がありお手伝いしました。また赤十字奉仕団の活動への食材提供、コープ委員会など組合員さんによるサロン活動などが行われ、被災地支援の連携の輪が広がりました。



いわて生協

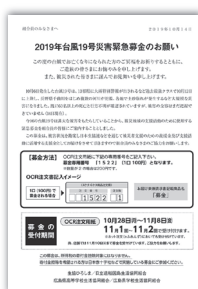
海田コープ委員会

台風19号災害緊急募金

17,726,073円の

募金協力がありました。

10月に発生した台風19号による甚大な被害に対し、緊急募金に取り組みました。協力いただいた募金は日本生協連を通じて被災地へ義援金、支援金としてお届けしました。



緊急募金チラシ

広島お好み焼き隊を派遣

熊本地震の被災地、東日本大震災の被災地、岩手県に組合員さんと職員で結成された広島お好み焼き隊を派遣。被災地で広島のお味を振る舞い、交流を行いました。



地域・社会貢献



障がい者支援募金

募資金額
1,926,028円を贈呈しました。
2018年度取り組んだ障がい者支援募金1,926,028円をきょうされん広島支部と14の小規模作業所に贈呈しました。2019年度の募金は1,604,102円の協力がありました。



災害復興支援・応援積立

1,613,427円を積立
商品カタログ「Deli-co」の表紙商品1点につき1円を「災害復興支援・応援積立」として取り組み、総額1,613,427円を積立てました。

災害復興支援・応援積立
表紙商品ご利用
1点につき1円支援
積立期間 2019年4月1回～9月4回

寄ってこーや

延べ**1,516名**が参加
地域のだれもが気軽に集え、コミュニケーションが広がる居場所作りに取り組んでいます。2019年度は5会場で163回開催し、延べ1,516名の参加がありました。



高齢者施設

複合高齢者施設をOPEN
広島市西区田方に生協ひろしまで初めてとなる「グループホーム」と「小規模多機能」の複合事業所「生協ひろしま田方高齢者施設」が2020年4月1日にOPENしました。



多様な人材育成

障がい者雇用率**2.66%**(法定雇用率2.2%)
知的障がいがある人が社会参加できる環境をつくり、自立のサポートを行う特例子会社ハートコープの運営など障がい者が共に働き、共に生きることができる就労形態の実現に取り組んでいます。



MANABIカレッジ

延べ**4,763名**の学生が受講
(体験講座含む)
MANABIカレッジはプラチナ世代が第2の人生に一步踏み出すための大人の大学です。2019年度は第4期、第5期を開校。お試し入学制度の導入により多くの方に受講いただきました。



ひろしまGENKI体操

呉市音戸町に続き、安浦町でも開催。両会場とも毎回30名～35名の方が参加。ひろしまGENKI体操を通じて、地域の交流の輪も広がっています。



「はじめてばこ」で子育てを応援

11,940世帯にお届け
(県内出生数の約55%)
広島県、テレビ新広島と連携し、広島で生まれた赤ちゃんをご家族に協賛企業からのプレゼントが入った、赤ちゃんの「はじめて」を詰め込むことができるBOX「はじめてばこ」をお届けしています。



ちゅきちゅきCLUB

延べ**7,706名**が登録
妊娠中からお子様がいっぱいになるまでの手数料が最大2年間無料、生協ひろしまの人気商品のプレゼントなど子育て中のママを応援する子育て支援サービスを行っています。



ちびっこひろば

延べ**66回780名**が参加
店舗の集会室でお母さんや子ども同士のコミュニケーションスペース「ちびっこひろば」を定期的に開催しています。



移動店舗 (ぷちこーぷ)

週**257ポイント**を巡回
移動店舗車両4台を稼働し、廿日市市、佐伯区、西区、安佐南区、東区、安芸高田市、呉市など週257ポイントを巡回し、お買い物と地域のコミュニケーションの場作りを支援しています。



フードバンク

店舗から**164kg**の食品を提供
賞味期限が近づいた商品やパッケージのへこみなどで販売ができなくなった商品をフードバンクに提供しています。食品は点検整理されて福祉団体等へ無償で提供されています。



誰かの笑顔につながる「エシカル消費」を推進しています

エシカルとは英語で「倫理的」という意味です。地域や社会、環境、人々に配慮したモノとサービスを買うことを「エシカル消費」といいます。貧困、児童労働といった社会問題や環境問題など一見、私たちの買い物とは無関係な商品生産の裏側で起こっている問題を知り、社会、環境に配慮した買い物が「エシカル消費」です。生協ひろしまでは組合員と共に学び、「エシカル消費」につながるお買い物の提案を行っています。



エシカル消費の例

- 社会** **CO・OP×レッドカップキャンペーン**
対象商品を1点購入で1円が国連WFPに寄付されます。飢えに苦しむカンボジアの子どもたちの学校給食を届けるために使われます。
- 教育** **コアノスマイルスクールプロジェクト**
「CO・OPコアノンロール」シリーズを1パックご購入ごとに1円がユニセフを通じてアフリカアンゴラ共和国に寄付されます。子どもたちが楽しく学べる環境づくりに使われます。
- 環境人** **レインフォレストアライアンス認証マーク**
レインフォレストアライアンス認証には持続可能な農業の基準を満たしていることが条件になります。農園の「環境・社会・経済」の3つの持続可能性を目指しています。

2019年度主なエシカル消費の取組み

取組み	協力金	内容
 もずく基金	2,205,697円	対象商品1点購入につき1円～2円を積み立て、サンゴの植え付けなど海の生態系を守る活動に使われます。
 ピンクリボン運動	1,613,781円	対象商品1点購入につき1円を認定NPO法人J.POSHに寄付し乳がんに対する啓発や患者・家族の支援に使われます。
 洗剤環境寄付キャンペーン	3,596,313円	コープの洗剤対象商品1点購入につき、その内の0.5円を積み立て、環境保護団体による環境保全活動に使われます。

※ピンクリボン運動と洗剤環境寄付キャンペーンは日本生協連全体の実績です。

産直活動

自給率の向上と持続可能な農業、環境保全を目的に生協ひろしま産直3原則をベースした産直（産地直結）の取り組みを行っています。2019年度新たに2品目が産直商品となり39品目に拡大しました。



生協ひろしま産直3原則

- ①生産者・産地が明確
- ②栽培方法・肥育方法が明確
- ③組合員と生産者が交流できる

2019年度に産直商品となった商品

	商品名	生産者
7月	ようてい人参	JAようてい
11月	有機栽培人参3種	寺岡有機農園

農業体験

生協ひろしまで取り扱っている商品の生産者と交流しながら家族で食の問題や農業について学ぶ農業体験や交流会を企画しています。



産地・工場見学

コープ委員会等が主催し、日頃利用している商品の産地や工場の見学を行っています。2019年度は22の産地と工場を521名の組合員さんが見学。地域の組合員と一緒に商品のこだわりについて学び、交流を行いました。



職員の商品学習・交流会を開催

組合員にお届けしている商品について、自分の目で見て触れて学ぶ「職員の商品学習・交流会」を開催しました。実際に商品に触れ、生産者、メーカーの皆さんと意見交換できる貴重な場になりました。



リスクコミュニケーション

組合員の食広報誌「こーぶぱれっと」で毎月食に関する情報を提供し組合員とのリスクコミュニケーションを行っています。

ミミオ先生
組合員さんの声をしっかり聞き、対話をすすめるキャラクターです。



広報誌「こーぶぱれっと」リスクコミュニケーションコーナー「食のほっとニュース」掲載テーマ

掲載号	テーマ
4月号	食品添加物と生協
5月号	発色剤
6月号	保存料
7月号	着色料
8月号	酸化防止剤
9月号	人工甘味料

掲載号	テーマ
10月号	防カビ剤
11月号	イーストフード
12月号	うま味調味料
1月号	漂白剤
2月号	かんすい
3月号	pH調整剤



ピースナイター2019



12回目となる
ピースナイターを開催。
8月6日(火)、マツダスタジアムでプロ野球公式戦を通じて平和と核兵器廃絶の願いを発信する「ピースナイター2019」を開催しました。5回の裏終了後、被爆ピアノが奏でるイメージにあわせ、観客全員でピースナイター新聞を掲げ平和への願いを発信しました。

ヒバクシャ国際署名

2020年3月時点の累計で
132,850筆集まりました。

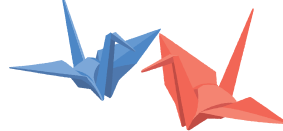
店頭での署名活動や宅配でのチラシ配布や広報誌で協力の呼びかけを行いました。



子ども碑めぐりガイド



生協ひろしま子ども碑めぐりガイドが全国からヒロシマを訪れた子どもたちに平和公園内の碑を案内しながら被爆の実相と平和の大切さを伝えました。生協ひろしまでは被爆の実相を風化させない次世代による「継承」活動を行っています。



碑めぐりガイド

生協ひろしま碑めぐりガイドの会

2019年度は**140**の学校や団体、
延べ**17,856**名に碑めぐりを行いました。

定例の碑めぐりや平和講座も開催し、被爆の実相と平和への想いを伝えています。



平和募金

2,612,805円の

協力がありました。

募金は被爆者支援団体の活動支援金、平和活動を行う活動資金として活用しています。



市民平和行進

403名が平和を願い行進

6月30日(日)東広島市で、8月4日(日)広島市で市民平和行進を行いました。戦争も核兵器もない平和な世界の実現に向け、アピールしながら行進しました。



ピースアクション

8月6日(火)ピースアクションinヒロシマが広島市で開催され、全国の生協から
約**1,300**名が参加しました。

フィナーレでは広島市の松井市長、長崎市の田上市長が揃って登壇し、組合員と共に「青い空」を歌いました。



平和の折り鶴昇華再生事業

広島平和記念公園に捧げられた折り鶴を解体し、カレンダーや折り紙に再生する事業に取り組んでいます。

解体作業に組合員の集いなど**24**箇所、
延べ**721**名が参加しました。



映画「おかあさんの被爆ピアノ」制作協力

原爆の惨禍を乗り越えた被爆ピアノを修復し全国でコンサートを開いている調律師 矢川光則さんをモデルにした映画「おかあさんの被爆ピアノ」の制作協力金を組合員に呼びかけを行い

1,120,000円の協力がありました。

映画の公開は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で公開延期となっておりましたが、7月より順次全国の映画館で上映予定です。



上映(予定)についてはこちら

7月17日より八丁座にて広島先行公開!



環境

リサイクル推移

項目	回収形態	回収実績量(t)					再生品
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
飲用パック 	支所・店舗	77.3	74.9	81.2	66.8	64.1	コアノンロール 
たまごパック 	支所・店舗	49.1	49.1	46.2	48.0	47.0	たまごパック 
発泡トレイ 	支所・店舗	21.3	18.9	17.8	17.4	16.6	トレイ 
透明トレイ 	店舗	5.0	5.2	5.7	5.5	6.6	トレイ 
シッパー内袋 	支所	47.6	43.5	44.7	45.3	45.5	再生フィルム、文房具 
チラシ類 	支所	4,684	4,737	4,745	4,857	4,755	チラシ 
ペットボトル 	店舗	28.3	20.7	20.9	26.0	21.8	プラスチック原料 
合計		4,912.6	4,949.3	4,961.5	5,066.0	4,956.6	

レジ袋削減を推進

マイバック持参率 **88.5%**

広島県との協定に基づき2009年より全店舗でレジ袋の配布を停止し、有料化を行っています。2019年度の持参率は88.5%でした。



リサイクル

4,755tのチラシを回収

宅配事業では前週に配布した商品カタログやたまごパック、飲用パック、シッパー内袋等を回収し、資源の有効活用に取り組んでいます。



バイオマスレジ袋の導入

店舗の有料レジ袋は石油資源から作られるプラスチックを使用していましたが、環境に配慮し、二酸化炭素排出の抑制につながる再生可能なバイオマス（植物由来）入りのレジ袋に変更しました。



生き物調査

米づくりを通じて水環境の大切さや生物の多様性を学ぶ「生き物調査」を行っています。「於手保あきろまん」の会の生き物調査では希少性の高い「シマゲンゴロウ」が見つかりました。



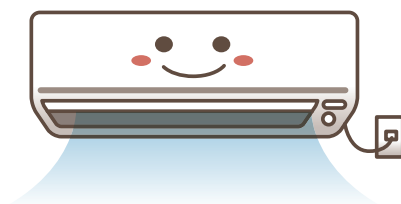
自然教室

庄原市のアサヒの森で親子の自然教室を行っています。森の中を散策しながら、間伐の大切さ、森の役割、持続可能な森林づくりについて学びます。



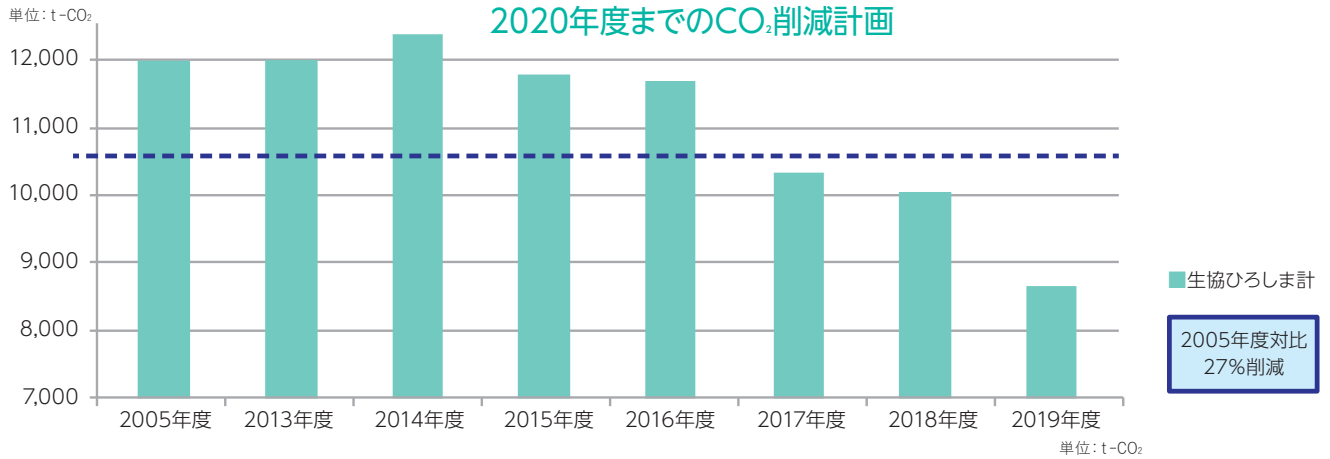
省エネトライアル

家庭でエネルギーの使用実態を調べ、省エネ行動の輪を広げる省エネ対策トライアルを組合員によびかけ実施。2019年度76名の組合員が参加しました。



2020年度までのCO₂削減計画に取り組んでいます

2020年までCO₂排出量を2005年の約15%の削減に向けて取り組んでいます。2019年度時点で2005年比27%を削減し、既に目標を達成しました。



2005年度対比
27%削減

電気使用量を14%削減しました

項目	使用量	単位	前年対比
電気	13,933	千kWh	86.0%
都市ガス	20,958	m ³	55.4%
LPガス	33,743	m ³	113.8%
水道	60,987	m ³	89.6%
灯油	249	ℓ	62.6%
車両(軽油)	569,345	ℓ	95.4%
車両(ガソリン)	276,544	ℓ	107.7%
注文書等商品案内	6,118	t	100.6%
シッパー内袋	179	t	99.4%
レジ袋	3.5	t	92.1%
トレイ	10.2	t	92.7%
ラップ(インスタアール)	8.0	t	87.0%
ドライアイス	136	t	39.5%

環境保全コスト

生協ひろしまでは環境保全を効果的に推進していくため環境保全や負荷にかかる費用と効果の進捗状況の記録を取り、把握を行っています。



(単位：千円)

主な取り組み内容	17年度	18年度	19年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	3,163	3,391	2,922	86.1%
紙類等のリサイクル	228	233	232	99.6%
生ごみ、廃食油、魚残渣のリサイクル	4,763	5,136	4,623	90.0%
一般・産業廃棄物の処理・処分、ごみ袋	32,562	22,883	28,219	123.3%
害虫駆除	2,716	2,480	2,403	96.9%
再商品化委託料	3,256	3,256	3,499	107.5%
合計	46,688	37,379	41,898	112.1%

食品廃棄量の削減

2019年度の
食品リサイクル率は**63.9%**

各店舗から排出される野菜くずや魚のあらを肥料や飼料にリサイクルし、食品廃棄物の削減に取り組んでいます。



事業による環境負荷の軽減

各事業所の空調の適正温度の設定、効率的な業務の推進、 unnecessaryな照明の消灯など運用管理を行っています。また、機器の更新による電力使用量の削減に取り組んでいます。



太陽光パネルを設置

呉支所、コープ焼山、大野事務所に太陽光パネルを設置し、2020年1月より、稼働を開始しました。3事業所の年間発電量は419,382kwhを見込み、各事業所の自家消費に活用し、CO₂削減に取り組んでいきます。



組織概要

(2020年3月31日現在)

名称 生活協同組合ひろしま
創立 1984年10月(昭和59年)
本部 広島市西区草津港2-8-42

役員 理事長 恵木 尚
専務理事 横山弘成
常務理事 宗本干城
常勤理事 重津光彦
常勤理事 高浦美穂
常勤理事 高橋房大
常勤監事 波田啓継

活動エリア 広島県全域(定款)
組合員数 398,293名
県内加入率 32.0%

出資金額 129.4億円
供給高 423億4,350万円
福祉事業収入 12億9,425万円
その他事業収入 13億6,542万円

職員数
総合職員 593人
専任職員 282人
パートナー職員 535人
福祉専門職員 199人
ヘルパー登録者 379人

組合員数

398,293名

(計画比99.3% 前年比99.9%)

出資金

129.4億円

(計画比99.3% 前年比99.3%)

2019年度事業状況

※数字は2020年3月末現在

供給高 423.4億円 (計画比101.0% 前年比101.1%)

共同購入他 345.4億円 (計画比100.6% 前年比102.9%)

店舗 77.9億円 (計画比102.6% 前年比 93.6%)

移動店舗(ぶちこーぷ) 4台稼働中

廿日市市・佐伯区・西区・安佐南区・安佐北区・東区・安芸区・安芸高田市・呉市・大竹市など257ポイントを配送

供給高 0.99億円 (計画比101.3% 前年比102.3%)

福祉事業 12.9億円 (計画比 96.0% 前年比 98.0%)

eふれんず(インターネット注文)

供給高 37.8億円 会員数 **61,228名**
(供給高に占める割合8.9%)

夕食宅配(思いやりコープ弁当)

平均食数 3,361食/日 会員数 **17,535名**

供給高 5.69億円
(前年比102.3%)

新聞で紹介された (2019年度新聞記事) 生協ひろしまの取り組み

5月 9日 安芸高田市と災害協定締結 中国新聞

6月13日 第35回通常総代会 中国新聞

6月14日 シリーズ「変わる消費」(宅配事業) 中国新聞

7月11日 西日本豪雨被災地で 生協くまもとが炊き出し支援 NHK、TSS他

8月 7日 ピースナイター2019を開催 中国新聞

12月 6日 西日本豪雨被災地で いわて生協が炊き出し支援 NHK、テレビ新広島、他

3月 6日 新型コロナウイルス感染症の拡大で 宅配需要が増加 中国新聞

「声」を届けました。

【私もひとこと】

●3,076件 ※注文書での受付

【あなたの声いかします】

●294件 ※店舗で受付

【こーぷぱれっとへのお便り】

●1,650件

【ホームページ】

●アクセス件数/500,916件

●メール/595件

「お互いさま」の輪

【くらしの助けあい】

(2019年4月～2020年3月)

●活動協力金/1,716,500円

●総活動時間/7994時間

●援助希望者/延べ1,228名

●活動者/延べ1,099名

協同の心を届けました。

【募金等】

●平和募金 2,612,805円

●障がい者支援募金 1,604,102円

●ユニセフ募金 2,940,789円

●2019年台風19号緊急募金 17,726,073円

●災害復興支援・応援積立 1,613,427円

●もずく基金 2,205,697円

(コープCSネット全体)

●コアノスマイルスクールプロジェクト 11,190,225円

(日本生協連全体)

●うなぎ協力金 427,443円

(コープCSネット全体)

●洗剤環境寄付キャンペーン 3,596,313円

(日本生協連全体)

【署名】

ヒバクシャ国際署名 132,850筆

(累計)

小規模作業所国会請願署名 9,359筆

2019-2020News topics

自治体と包括連携協定の締結

東広島市を始め、6自治体と包括連携協定を締結しました。高齢者支援、障がい者支援、子育て支援など双方と機能を生かし安心して暮らせる地域作りに連携して取り組みます。

コープ五日市北をリニューアルオープン

10月26日、コープ五日市北をリニューアルオープンしました。健康志向商品や各世代のニーズに適応した商品の品揃えを行い来店客数、供給高も好調に推移しています。

京市と生活協同組合ひろしま 携協に関する協定締結



高齢者複合施設を

広島市西区田方にグループホームと小規模多機能施設を併設した高齢者複合施設をオープンしました。



編集方針

生協ひろしまは2006年に「企業の社会的責任」を意味するCSR経営を進めることを宣言しました。事業と組合員活動から成り立つ生協ひろしまの取り組みをステークホルダーの皆さまに報告いたします。この報告書は生協ひろしまの基本理念に則して推進している生協ひろしまの事業や活動、その進捗状況を報告することを基本とします。

発行 行：2020年7月
者：生活協同組合ひろしま
〒739-0495
広島県廿日市市大野原1-2-10

問い合わせ先：総合企画室
TEL 0829-50-0409
FAX 0829-50-0352
URL <https://www.hiroshima.coop>
E-mail hcoop@mail.hiroshima.coop

ホーム
ページ



フェイス
ブック

